

たつの市

国民宿舎事業会計経営健全化計画の概要

1 資金不足比率が経営健全化基準以上となった要因

- 施設設置以後の増改築を行う際の収支計画で、利用人数の設定や収益増見通しが安易であった
- リーマンショックによる景気の低迷や、新型インフルエンザ、東日本大震災等の影響で収入が大幅に減少
- 資金不足解消のための資金調達を一時借入金に依存

2 計画期間

平成26年度 1年間

3 経営の健全化の方針

- 赤とんぼ荘及び志んぐ荘は2荘一体の指定管理者制度を導入
- 新舞子荘は、宿舎業の存続を条件として民間に売却
- 不良債務は一般会計から支援を受けることで解消

4 資金不足比率を経営健全化基準未満とするための方策

- 役割分担、責任の所在を明確化した新組織づくり
- 運営体制・人員見直し、原価率の見直し及び保守管理料等高額支出科目の見直し
- 食事メニューの改善、物販の改善及び農産物コーナーの開設により顧客ニーズに対応
- 新舞子荘は平成26年度に売却し、売却益は企業債償還に充当する

5 4の方策に係る収入及び支出に関する計画

(単位：百万円)

	25年度決算	26年度決算
経常収益	896	1,351
経常費用	1,053	1,048
他会計繰入金	116	817

6 各年度ごとの資金不足比率の見通し

(単位：%)

	25年度決算	26年度決算
資金不足比率	36.0	—

7 その他経営の健全化に必要な事項

- 民間活力導入による新たな経営形態への移行により、着実な経営改善を図っていく